

# 地域実践活動事例報告シート

平成27年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック  
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) 秋田県建築士会鹿角支部 事業名 かつの元気フェスタ

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり  
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大  
建築士(会)の周知 次世代育成 その他( )

●企画運営団体 上記建築士会名 その他(鹿角建設技能組合・十和田建設技能組合)

●活動の背景  
 ・少子高齢化の状況について、建築に関する技能者や建築士の業界においても高齢化が顕著であり、若い世代の人材の確保が必要となっている。

●活動目的  
 ・一般の市民(特に子供たち)から木と技術にふれあって興味をもってもらい、将来のなりたい職業の一つに技能者や建築士が認知される。  
 ・模擬上棟式を通じ、住宅建設の一大事業の醍醐味を感じてもらう。  
 ・日頃一般の方々は見ることもできない技を披露し、技能職や建築士を認知される。  
 ・親子木工教室を通じ、親子で行う物づくりの面白さを知る。

●活動内容と成果  
 平成27年9月13日(日)鹿角市記念スポーツセンターにて、かつの元気フェスタに参加し、会場内のブースにて下記内容のイベントを行った。技能組合との共働運営により、たくさんの子供達と木や技術にふれあうことができた。また、近年行うことが少なくなった上棟式を行うことにより、若手の建築士や技能者にとっても、残すべき建築知識としての儀式を再確認することができた。  
 ・親子木工教室…親子参加で本棚の製作をしたり、釘打ちや木片積み木などを体験した。  
 ・模擬上棟式…模擬上棟式を子どもの大工さんといっしょに行い、来場者へ餅まきを行った。  
 ・住宅相談…建築士や技能士が日頃の知識を生かし、市民の皆さんの建築に関する相談に対応した。

●集客方法  
 ①会場ホームページに掲載 ②地域配布チラシに掲載 ③Facebook案内 ④スタッフによる声かけ ⑤事前開催イベントでの声かけ

●活動収支

収入	企画運営団体内事業費約8万円、補助金約1.7万円				支出	約2.5万円
----	--------------------------	--	--	--	----	--------

●来場者

運営側	建築士会			他団体			参加者	来場者				計
	建築士会	他団体	計	会員	建築士	一般		子ども	計			
	8	9	17									

連携・協力組織 主催：かつの元気フェスタ実行委員会 事務局：鹿角市産業部農林課、鹿角市社会福祉協議会



写真①



写真②

●今後の課題  
 ・建築相談がメインの役割となったため、建築士の分野を知ってもらうことや次世代育成のためには内容不足であった。

●今後の計画  
 ・かつの元気フェスタ参加が5年目となるため、建築相談のみに限らず、そのほかの建築士を知ってもらうブースの作りこみをしたい。

問い合わせ先	秋田県建築士会鹿角市支部	担当者	安保 尊
連絡先	TEL 0186-30-3500 FAX 0186-30-3600	e-mail	towada.bk@sepia.plala.or.jp
ホームページアドレス	<a href="http://akitakenchikushikai.or.jp/kazuno/index.html">http://akitakenchikushikai.or.jp/kazuno/index.html</a>		

# 地域実践活動事例報告シート

平成27年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック  
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社) 秋田県建築士会 大館・北秋田建築士会 事業名 親子で工作

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり  
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大  
建築士(会)の周知 次世代育成 その他( )

●企画運営団体 上記建築士会名 その他( )

●活動の背景  
 昨年度までは建物マップの作成など活動を行ってきた。しかし、一般市民への認知はまだまだである。子供向けの体験型イベントを開催することで、集客が見込めるため開催に至った。

●活動目的  
 建築士の仕事や建築士会活動を一般市民にPRするとともに、将来を担う子どもたちに工作を通して、楽しく「建築」に触れ合うことのできるイベントを目指す。

●活動内容と成果  
 日時 : 平成27年3月7日(土)・8日(日) 10:00~16:00  
 開催場所: いとく大館ショッピングセンター 3階催事場  
 (一社)秋田県建築士会主催の「住宅新築リフォーム講座」との併催で講座終了後の会場を利用し開催。  
 ダンボールの空き箱を利用し、建築現場などで不要になったビニールクロスや布、サンプルなどを用意し工作の材料とした。  
 タイムスケジュール  
 10:00~13:00 住宅リフォーム展・無料相談  
 13:30~14:00 住宅新築リフォーム講座  
 14:15~16:00 親子で工作

●集客方法  
 ①会員各自チラシ配布(400枚) ②会場にポスター掲示③新聞記事の依頼④地元紙への広告⑤当日会場内でのアナウンス

●活動収支	収入	青年部予算より12,769円						支出	12,769円
-------	----	----------------	--	--	--	--	--	----	---------

●来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		15	0	15			4	2	7	13

連携・協力組織



写真①



写真②

●今後の課題  
 親子で工作の告知不足で来場が少なかった。

●今後の計画  
 今年度は1月30日、31日開催

問い合わせ先	大館・北秋田建築士会	担当者	長谷部 徹
連絡先	TEL 0186-55-3820	FAX 0186-55-3826	e-mail <a href="mailto:toru@hasebehome.com">toru@hasebehome.com</a>
ホームページアドレス			

# 地域実践活動事例報告シート

平成27年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック  
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) 能代山本建築士会 青年委員会 事業名 旧料亭 金勇 パンフレット作成事業

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり  
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大  
建築士(会)の周知 次世代育成 その他( )

●企画運営団体 上記建築士会名 その他( )

●活動の背景

能代にある国登録有形文化財の「旧料亭 金勇」に建築の専門的な視点で貢献できる活動をする。

●活動目的

能代にある国登録有形文化財の「旧料亭 金勇」に関して建築的な知識を活かしたパンフレット作成を行う。

●活動内容と成果

「旧料亭 金勇」は明治23年(1890年)に創業しています。現在の建物は昭和12年(1937年)に立て替えられた物で、県内屈指の老舗料亭として親しまれてきました。当時、東洋一の木都と呼ばれた能代市の文化や木材加工技術の繁栄を伝える貴重な歴史的建造物として平成10年(1998年)に国登録有形文化財に登録されています。市民に親しまれているこの建物に青年委員会で貢献できることを考えた結果、現在利用されている一般的なパンフレットとは別に、より建築の専門的な知識を活かしたパンフレット作成をすることになりました。現在はパンフレットを作成するために必要なデータベースをまとめています。具体的には使われている樹種や材積等をまとめたデータ作成や、各室、各部位で採用されている意匠的な特徴をシートにまとめる作業、建物の歴史等を調査する活動を行っています。今後もデータ収集を行う予定で、4年間のスパンでパンフレットを作成する計画になっています。

●集客方法

●活動収支 収入 〇 支出 〇

●来場者	運営側	収入				支出				計
		建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	

連携・協力組織



写真① 建物外観



写真② 見学会開催時の案内人による建物の説明

●今後の課題

木材に関して専門的な知識を持つ方々との連携。

●今後の計画

現地の調査によるデータ収集の継続を行い、最終的にはそれらをまとめる形でパンフレットを作成する。

問い合わせ先 能代山本建築士会 担当者 長門 雅哉  
 連絡先 TEL 0185-74-6201 FAX 0185-74-6202 e-mail masaya.nagato@rhythm.ocn.ne.jp  
 ホームページアドレス

# 地域実践活動事例報告シート

平成27年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック  
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) 秋田県建築士会秋田中央支部青年部会 事業名 ブルーノアウト来秋80周年記念イベント 町屋調査

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり  
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大  
建築士(会)の周知 次世代育成 その他( )

● 企画運営団体 上記建築士会名 その他(ブルーノアウト来秋80周年記念イベント実行委員会)

● 活動の背景  
 現在、調査した渡幸邸(町屋)は空き家となっているが所有者のご厚意により近隣地域にある秋田公立美術大学の学生のイベントなどで活用されている。隣地に美術大学関連施設建設の計画があるため町屋を地域で修繕してイベントスペースとして活用を考えたいとの意向であった。イベント実行委員会メンバーに本会青年委員がいたので、本青年部会でどの程度の費用がかかるのが積算をしていただけないかとの依頼があり、またその内容をイベントで発表していただきたいとの依頼があったため青年部会でイベントへ後援協力することとなった。

● 活動目的  
 建築士会の活動を地域の一般市民の方々へPRをするとともに、実行委員メンバーである美術大学景観専門の教授及びび学生、町づくりの専門家、地域の方々と交流をはかりつつ、今後も相互協力しながら町屋を活用していく活動を継続していくことを目指す。

● 活動内容と成果  
 10月18日に実行委員の方々と共に町屋-渡幸邸内外部の事前調査を行った。現状の建物内部の状況及び構造、法的な観点等も配慮し。イベント当日、どの程度の修繕見積りを発表するのかの検討を行った。  
 調査後、イベント当日までに調査した内容をまとめ、写真や図面を基に修繕見積書を作成した。  
 11月15日に～ブルーノアウト来秋80周年記念イベント～町屋を活用する新しい秋田のまちづくりの提案が渡幸邸近隣にある忠専寺にて行われたが、その中で家屋調査報告を行った。  
 渡幸邸のある秋田市新屋地区の市民の方々に建築士及び建築士会のアピールができた。また、今まで交流の無かった秋田公立美術大学景観専門の教授方々及び町づくり専門で活動している方との意見交換や交流も図れた。また今後を担っていく秋田公立美術大学の学生へ建築士会をアピールできたのではないと思う。今後の交流を継続し建築士会として相互協力を図っていききたいと思えます。

● 集客方法  
 ①イベント開催地区にある秋田市西部市民センターへフライヤーの掲示。②会場及び会場周辺へのフライヤーの掲示。③秋田魁新報(新聞)への掲載④秋田中央建築士会青年部会員へフライヤーをメールにて送付⑤実行委員スタッフによる声掛け⑥地域フリーパーへの掲載⑦その他

● 活動収支 収入 青年部会予算16,000円(参加部員日当のみ)※後援協力のため、その他の収支は不明 支出 16,000円

● 来場者	運営側	収入			参加者	支出				計
		建築士会	他団体	計		会員	建築士	一般	子ども	
		3人	12人	15人	5人	2人	102人	15人	139名	

連携・協力組織 主催：ブルーノアウト来秋80周年記念イベント実行委員会 共催：NPO法人新屋参画屋  
 後援：秋田県、秋田市、秋田県教育委員会、秋田市教育委員会、秋田中央建築士会(青年部会)、NHK秋田放送、ABS秋田放送、秋田魁新報社等



写真① 事前調査の様子



写真② イベント当日 調査結果の発表の様子

● 今後の課題  
 ・今回のような依頼があれば今後も協力していきたいと思う。また秋田地内にある他の町屋についても調査保全していければいいのだが、その前に戦時中の空襲の影響で残っている町屋自体が少ない・町屋の所有者の高齢化が進んでいる及び町屋の所有者が地元にはいない・町屋の所有者の理解が得られないなどの課題がある。

● 今後の計画  
 今後は、今回調査及び修繕見積りを作成した渡幸邸を来年度より地域の方々の力で(ボランティアなど)修繕及び活用していく計画があるとの事ですので、本青年部会も可能な限り協力していきたいと考えております。

問い合わせ先 (一社)秋田県建築士会 秋田中央建築士会 青年部会 担当者 青年部会長 原田 裕  
 連絡先 TEL 090-7791-8950(携帯) FAX 0185-35-2014(勤務先) e-mail harata@oga-shimizugumi.co.jp  
 ホームページアドレス なし

# 地域実践活動事例報告シート

平成27年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック  
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社) 秋田県建築士会 (由利建築士会 青年委員会) 事業名 由利本荘市民まつり協賛事業 木工教室

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり  
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大  
建築士(会)の周知 次世代育成 その他( )

●企画運営団体 上記建築士会名 その他( )

●活動の背景  
 建築士会や建築士を一般市民の方に広く知っていただくべく、平成20年より由利本荘市主催の「由利本荘市民まつり」に協賛出店し、建築木工教室を開催している継続事業。

●活動目的  
 建築士会と建築士のPRと、「建築」に身近な木を使用し、年齢問わず楽しみながら行えるイベントとし、「建築」を身近に感じてもらおう。

●活動内容と成果  
 イベントでは椅子を製作してもらうために、10月17日にあらかじめ材料の加工作業を行った。(会員参加者7名)  
 10月24日に由利本荘市文化センター「カダーレ」にて「建築士会 木工教室」を開催。(会員参加者5名)  
 木製椅子の材料を来場者に組み立てて頂き、無料で差し上げます。普段あまり触れることのない、金づちやインパクトドライバーに興味を持ち実際に使用し組み立てていきます。お年寄りから子供まで出来る作業となり、多くの来場者に喜ばれていました。参加した親子からは、普段触ることのない道具を実際に使い椅子を完成させることができ良い経験となった、とのお話も聞けました。  
 10時から開始し14時には用意した椅子52組が売り切れとなり、大好評となりました。  
 参加者はあちこちで金づちの音を出しながら楽しんで取り組んでいましたが、混雑が多くスタッフの人員不足もあり、建築士会のPRが出来なく反省点の一つでした。

●集客方法  
 主催者の由利本荘市民まつりのポスターによる告知  
 会員による声掛け

●活動収支	収入	事業予算65,000円	支出	44,237円
-------	----	-------------	----	---------

●来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		12	-	12		-	-	45	30	

連携・協力組織 由利本荘市民まつり主催者：由利本荘市



写真①



写真②

●今後の課題  
 参加会員の減少で、事業自体に支障が出ているため、スタッフ確保のための早めの声掛けと、役割分担などの効率的な運営を検討していく。

●今後の計画  
 毎年の継続事業ではありますが、その年の反省点を改善しながら、よりよい事業に発展させていきます。

問い合わせ先	(一社) 秋田県建築士会 由利建築士会	担当者	工藤博臣
連絡先	TEL 0184-23-3588 FAX 0184-23-3558	e-mail	hk-55@arion.ocn.ne.jp
ホームページアドレス			

# 地域実践活動事例報告シート

平成27年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック  
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) 仙北建築士会 青年委員会 事業名 H27年度大仙市秋の総フェア みんなの体験学習 「作って貯めよう!!杉の木★貯金箱☆」

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり  
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大  
建築士(会)の周知 次世代育成 その他( )

●企画運営団体 上記建築士会名 その他( )

●活動の背景  
 今まで開催してきたイベントは対象となる年齢層に偏りが生じてしまう場合があった。老若男女誰でも家族として、友人グループとして、個人として参加して頂くことのできるイベントの開催がPR効果が高いと考え、会場への足の運びやすさも考慮し今回のイベントを企画した。

●活動目的  
 老若男女問わず、イベントを通して実際に木に触れ「自然の温もり」を感じ、そして道具を使用し自ら作業することで「物を作り上げることの難しさ・楽しさ」を感じてもらい、我々の仕事を身近なものとし興味を持って頂くことを目的とした。また、地元の魅力的な建物を紹介することで建築に関して興味を持って頂くことも目的とした。

●活動内容と成果  
 毎年地元で開催されている「大仙市秋の総フェア」の会場の一角に特設ブースを設けイベントを開催。  
 会場内に響く金槌の音と桧葉のチップを袋詰めした匂い袋につられ、沢山の方々に来場して頂き建築士会をPRできた。  
 [イベント内容]  
 1)杉の木貯金箱の製作  
 →10cm角の立方体から成り、県産材である杉の木にて作成。貯金箱はブラケットキット化したものを会場にて組立。  
 その後、個人の感性に任せ貯金箱をマスキングテープ等でデコレーションし、完成品は各自持ち帰って頂いた。  
 2)匂い袋の配布(桧葉のチップ袋詰め)  
 →ビバの木の木っ端を削ったものを不織布でできた袋に詰め、来場した希望者へ配布。木のそのままの香りを嗅いで頂いた。  
 3)パル展示「大仙市の魅力発見!!」  
 →予め運営スタッフが地元にある魅力的な建物を調査し、PR用の報告書を作成。その報告書を地域別に分類し掲示。自由に閲覧して頂いた。  
 [結果]  
 貯金箱は40個準備し品切れ。匂い袋は450袋程度を配布した時点で品切れ。 ※老若男女問わず全て無償にて提供。  
 パル展示についてはスタッフ自らが現地に出向き写真を撮ったり話を聞く等、スタッフ自身の勉強にもなった。

●集客方法  
 ・毎年行われている地元の祭りに共催することで、集客効果を見込んだ。  
 ・会場のある地域に配布するイベントのチラシに掲載して頂いた。  
 ・会場内にて当日チラシを配布(ビラ配り)、運営スタッフによる声かけを行った。

●活動収支

収入	仙北建築士会：30,000円 仙北建築士会青年委員会：12,000円		支出	42,000円
----	------------------------------------	--	----	---------

●来場者

運営側	建築士会			計	参加者	来場者				計
	建築士会	他団体	計			会員	建築士	一般	子ども	
	12	0	11		0	0	36	19	55	

連携・協力組織 連携：大仙市



写真①：パネル展示の様子 写真②：来場者による貯金箱組立の様子 写真③：参加してくれた子供達

●今後の課題  
 貯金箱製作は今回が初の試みであったこともあり、準備した数・スタッフ共に足りてない状況になってしまった。予算との関係もあるのでは全てに満足する対応は出来ないが限りなくそれに近づけるための努力と知恵が必要である。また、建築士会をPRするうえで口頭のみでなくパルキットを準備していればもう少し詳しくPRできたかもしれない。

●今後の計画  
 パル展示については来場者の方から掲示内容を盛り込んだパルキットが欲しいとの要望があった。今後は調査地域の範囲を広げ物件数を増やし、何れはパルキットを作成できればと思う。また、貯金箱及び匂い袋についても想像以上に大盛況であったため、PRするための一つのツールとして改良を加えながら継続していきたいと思う。

問い合わせ先 仙北建築士会 (榎長岐建築設計事務所 内) 担当者 草薙 渉  
 連絡先 TEL 0187-62-4320 FAX 0187-62-0213 e-mail nagaki@mx4.et.tiki.ne.jp  
 ホームページアドレス

# 地域実践活動事例報告シート

平成27年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック  
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社) 秋田県建築士会 横手支部 事業名 つくってあそぼう

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり  
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大  
建築士(会)の周知 次世代育成 その他( )

● 企画運営団体 上記建築士会名 その他(横手市、横手市子ども会育成連合会)

● 活動の背景  
 子どもたちが放課後や休日により豊かな体験が出来るように、造形活動を主体とした遊びを提案する「つくってあそぼう」への協力が毎年、横手市と横手市子ども会育成連合会から依頼される。活動趣旨に賛同し、当会も参加することとした。

● 活動目的  
 子どもたちの造形に対する関心を高めることや、刃物の正しい使い方を学ばせること、そして当会のPRも兼ねて活動することとした。

● 活動内容と成果  
 9月26日(土)9:30~12:00に横手市ふるさと館(境町公民館)にて開催された。対象は市内の小学生とその親御さんで、100名程の参加者であった。  
 当会では折り紙建築と網代編みを体験してもらった。折り紙建築では、1枚の紙とカッターだけで立体的な建築が出来るさまに、多くの子どもたちの歓声と達成感が伝わってきた。網代編みでは、あらかじめこちらで細い薄板を用意し編んでもらった。色とりどりのテープやビーズなども用意し、子どもたちに自由に飾り付けしてもらったが、大人にはない発想に、こちらも楽しませてもらった。  
 会員数の減少が悩みではあるが、この中から未来の建築士が生まれることを期待している。

● 集客方法  
 市内の全小学校に配布される「つくってあそぼう」の案内による

● 活動収支	収入	40,000円(当会予算)						支出	40,000円
--------	----	---------------	--	--	--	--	--	----	---------

● 来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		10	40	50				40	60	150名

連携・協力組織 主催：横手市、横手市子ども会育成連合会  
 他協力団体：森の王国サルバ、横手市造形教育研究会、横手市建設技能協同組合、市子連・ジュニア



写真① 会場風景



写真② 網代編みの様子

● 今後の課題  
 毎年の恒例行事となり、横手市からも期待されている感がある。マンネリとにならない為にも、子どもたちに飽きられない工夫をしていきたい。

● 今後の計画  
 年1回の活動ではあるが、他の建築士会から協力の要請があれば、引き受けたいと思う。

問い合わせ先	(一社) 秋田県建築士会横手支部	担当者	齋藤 智裕
連絡先	TEL 0182-53-2650 FAX 0182-53-3450	e-mail	tkuto@jade.plala.or.jp
ホームページアドレス			

# 地域実践活動事例報告シート

平成27年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック  
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) 湯沢雄勝建築士会 事業名 サンロード商店街アーケード老朽化に対する提案

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり  
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大  
建築士(会)の周知 次世代育成 その他( )

●企画運営団体 上記建築士会名 その他(サンロード商店街)

●活動の背景  
 平成25年に湯沢雄勝支部青年大会でサンロード商店街を題材としたワークショップを行なった際、商店街の方々にも審査員として参加していただきました。そのことがきっかけで、現在老朽化が進み、耐震不足と判定されたサンロードのアーケードを今後どのようにすべきか提案してほしいという依頼を湯沢雄勝青年部が受けました。前年度に引き続き活動を行なっています。

●活動目的  
 アーケードの老朽化、耐震不足という現状をふまえて、商店街の景観統一と市民が集まりやすい場所にリニューアルする提案を行ない、地域活性化につなげる。

●活動内容と成果  
 ◆平成26年11月27、28日 山脇より建築士会有志に依頼内容の説明 ◆平成26年12月1日 サンロード商店街会館にて依頼内容の確認 ◆平成26年12月3日 提案検討会：基本構想についての依頼内容の精査と現地調査 ◆平成26年12月4日、5日提案検討会 基本構想の立案 ◆平成26年12月9日 提案検討会：基本構想の立案・調査・プランニング・構想図作成 ◆平成26年12月17日 提案検討会：関係法令の調査・確認 ◆平成27年1月8日 提案検討会：これまでの提案の再確認・素案のまとめ ◆平成27年1月29日 提案検討会：プレゼン資料作成 ◆平成27年2月20日 提案検討会：プレゼン資料作成(2回目) ◆平成27年3月20日 提案検討会：プレゼン資料作成(中間報告まとめ) ◆平成27年4月21日 提案検討会：プレゼン資料作成 同日13時15分よりサンロード商店街役員の皆様への説明報告会 (提案検討会：家乃森工務舎、説明報告会：湯沢グランドホテル)

●集客方法  
 商店街の役員会へ出席し提案を行なった。

●活動収支	収入				0円				支出		0円
	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計	
●来場者		3人	25人	28人						0人	

連携・協力組織



写真① 検討会作業風景

写真② 現在のサンロード

●今後の課題  
 今回の活動は事前に青年部の会員に周知をおこなったが、最終的に5人での活動となった。自分たちのまちについて直接考えを述べられる機会であったので多数の会員の参加を期待したが、思ったよりも少なかった。地域実践活動に会員がもっと積極的に関われるような体制づくりが必要と考える。

●今後の計画  
 活動への会員の積極的な参加を促すような企画を行ない、地域への貢献をともに行なっていく。

問い合わせ先 湯沢雄勝建築士会 担当者 加納 大輔  
 連絡先 TEL 0183-55-8708 FAX 0183-55-8709 e-mail kano-atelier@wonder.ocn.ne.jp  
 ホームページアドレス